

1. 評価結果概要表

作成日 平成 22年 3月 5日

【評価実施概要】

事業所番号	0272100785
法人名	医療法人誠仁会
事業所名	グループホーム「わかたけ」
所在地 (電話番号)	〒038-3151 青森県つがる市木造若竹5 (電話) 0173-42-5133

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成22年1月21日	評価確定日	平成22年3月5日

【情報提供票より】(平成 21年 11月 13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 8月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7人, 非常勤 人, 常勤換算 7人	

(2) 建物概要

建物構造	木造銅版葺平屋 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 780 円		

(4) 利用者の概要(11月 13日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名
要介護3	3 名	要介護4	名
要介護5	名	要支援2	名
年齢 平均	88 歳	最低	76 歳
		最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	尾野病院、平田歯科医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの敷地には同法人の病院、老人保健施設が隣接され、管理者が看護師ということもあり、緊急時や重度化した場合、早急に対応することができる。家族からの信頼感も強く、医療面のサポートも万全であり、安心して生活が続けられるグループホームである。ホーム内は明るく適度に装飾がほどこされ、利用者の表情も明るく、雰囲気が良い。食事の前には利用者全員で嚥下体操を行い、嚥下機能の維持と誤嚥を予防する取り組みがされている。また、利用者が居室に閉じこもることがないように職員は取り組んでおり、食事の後もホールで過ごされている利用者が多い。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>権利擁護、身体拘束、高齢者虐待の勉強会が開催されており、資料もすぐに閲覧できるように見やすいところに整備されている。職員も各制度を理解されており、業務にも反映されている。キャラバンメイトに登録され、活動も計画されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は、職員一人ひとりに意見を書いてもらい、意見を参考にして管理者が作成されている。運営推進会議での報告も行われており、意見交換がされている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催されており、自己評価及び外部評価の報告が行われ、メンバーから意見を吸い上げ、改善に向けて取り組んでいる。地域住民代表者の参加により地域の情報収集がされ、今後は地域の協力体制の強化を目指して取り組むという姿勢が強く感じられる。また、他事業所の管理者も運営推進会議に参加されており、意見交換がされている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族は、少なくとも月に1回は面会に来ており、面会時には、生活の様子を伝えるとともに、意見を聞き出すように心がけて接している。苦情窓口については重要事項説明書に明記されており、説明も十分行われている。苦情に対しては解決のマニュアルがあり、即時に検討、対応できる体制ができています。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>運営推進会議において地域の情報収集がされ、地域の行事には積極的に参加されている。外部の実習生やボランティア等の受け入れ体制もできている。キャラバンメイトに登録され、地域に向けての活動も計画されている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は地域との関係性に対する内容が盛り込まれており、ホールやスタッフルームに掲示されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	問題が起こった際には理念を振り返り、日々職員で話し合っており対応されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	祭りやねぶたなどの地域行事には積極的に参加され、地域交流に努めている。また、職員はキャラバンメイトとして登録されており、今後の活動を計画されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員一人ひとりの意見を参考にして管理者が作成されている。運営推進会議において報告が行われており、改善策に対して意見の吸い上げが図られている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催されており、地域住民の代表者、自治体職員、利用者家族、また他事業所の管理者も参加されている。地域の情報収集、自己評価・外部評価の報告などが行われており、双方向的な意見交換がされている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>日々市町村との意見交換が行われており、いつでも相談できる体制となっている。こまめに情報収集もされており、市町村との関係作りに取り組まれている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護に関する資料が整備されており、職員がいつでも閲覧できる環境作りがされている。資料を基に勉強会も行われている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止法関連の資料が整備されており、外部講師による勉強会も行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書を用いて説明がされている。入院時においても家族との話し合いが行われており、状況によっては臨機応変に対応がなされている。		
10	12	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭についてはホームで管理している利用者はいない。利用料、医療費等の支払いのため毎月1回は面会があり、面会時に生活の様子や行事などを家族に報告されている。以前に一度、広報誌を作成したとのことであるが継続されていない。		ホームでの生活の様子や行事の様子、ホームからの情報発信の手段として、広報誌の継続発行が望まれる。
11	13	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時には日々様子を積極的に伝え、意見も聞き出せるように努めている。苦情窓口について重要事項説明書に明記されており、説明も十分行われている。苦情に対しては解決のマニュアルがあり、即時に検討、対応できる体制ができている。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人の方針によりほとんど人事異動は行われていない。採用時には、同法人の病院において、ある程度の経験を積んでから異動が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年6回の勉強会を計画し、実施されている。 西北五グループホーム協会の研修会にも参加され、ホームにおいて伝達研修が行われている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会の研修会で、他事業所との意見交換が行われている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に家族がホームを見学し、説明が行われているが、本人の同行までには至っていない。 また、入居前の事前訪問が行われていない場合がある。		入居前には事前訪問を行い、本人の状態確認及び家族・本人の意向確認を行うことが望まれる。 ホームの見学においても家族だけではなく、本人の見学も取り入れ、環境変化におけるダメージの軽減を図り、入居に対し本人・家族の納得が得られるような取り組みが望まれる。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は会話を通じて昔の生活を学んだり、掃除、調理、チラシたたみなど常に寄り添うことを心がけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式を用いて個々の生活習慣、生活歴もアセスメントされている。入居後においても、情報収集に努め、随時追加記入されている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は職員全員で検討され、意見を基に作成担当者が作成されている。</p> <p>介護計画には介護項目のみではなく、日々の生活に関する目標も設定されている。業務に反映できるように会議が開かれ、職員への周知徹底がされている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な評価、見直しが行われており、状況変化に応じて随時見直しも行われている。見直しの際には職員を含めて検討されている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院は法人で対応できる体制にあり、実際に取り組みされている。その他の外出においても法人の協力により行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医の変更については、家族に十分な説明が行われており、同意も得られている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合には家族と十分話し合う機会を持ち、家族の希望により対応できる体制にある。また、母体が医療機関であるため、緊急時には協力が得られる環境にある。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>ケース記録やその他の個人情報を含む書類は、全て鍵のついた棚に入れている。個人情報利用同意書も入居時に説明の上、署名捺印が得られている。職員に対しても採用時には就業規則に尊重事項としてうたっており、十分な説明により意識付けがなされている。また、退職時には個人と文書を交わして徹底されている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者と接する際には、本人の希望を引き出せるように寄り添うことを心がけ、希望の実現に向けて努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	同法人の栄養士が作成したメニューを参考にし、利用者の希望を取り入れながら作成されている。誕生日や行事には特別なメニューを用意して提供している。食事の準備や後片付けにおいても、個々に役割があり、職員と共に行われている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の定期的な入浴の他に、希望により入浴できる体制にある。入浴できない利用者に対しては足浴や清拭で対応されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者はチラシたたみや洗濯物たたみ、食事の準備・後片付けなど、個々に役割を持って生活されている。また、利用者と接する際には、何ができるのか、何が好きなのかの把握に努め、日々の生活に反映できるように取り組んでいる。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出行事の年間計画が組まれている。利用者の希望により買い物に出かけるなど対応されている。天気の良い日には散歩など、戸外に出るように支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に勉強会を行っており、職員も内容について理解され利用者の対応に活かされている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、鍵は掛けておらず夜間のみ施錠されている。職員は利用者の行動パターンの把握に努め、観察を強化するなどし、鍵を掛けないケアに取り組んでいる。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回は消防署員立会いのもと、病院と合同で行っているほか、緊急連絡網の作成やホーム単独での防災訓練が行われ、緊急時に備えられている。また、運営推進会議において、地区代表者に対し災害時の協力を呼びかけ、災害時の対応についても話し合いが行われている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取が不安定な利用者には、摂取量の一覧を用いて確認している。 水分補給についても個々の状態に合わせた対応がされている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルが作成され、標準予防策を職員は周知徹底している。 ホーム内の環境は、手すりをハイターで拭く、緑茶でうがいをするなど感染予防に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
34	78	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感のある装飾がされている。テレビの音量や明るさ、室温など適度に調整されており、居心地よく過ごせる工夫がされている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込み品に制限はなく、写真が飾られたり、位牌を置いていた利用者もいた。利用者それぞれがこれまでの生活の中で使い慣れた物を配置している。		

 は、重点項目。